

■内藤寿七郎 小児科医。〔愛育会〕をスタートに、生涯、母親が良く分かる乳幼児育てを推進、「育児の神様」と呼ばれた。

ないとうじゅしちろう
満鉄発足・・・1906＝

伊藤博文暗殺1909＝ 3歳：軍医少佐になった父の転任先、鹿児島に移住、大久保利通の家を借家。
明治天皇没・・・1912＝ 6歳：(藤田東湖の妹が初代園長だった)鹿児島女子師範付属幼稚園に入り、
大正政変・・・1913＝ 7歳：鹿児島女子師範付属小学校に進むが、父が中佐に昇進、満州の遼陽病院長になり、遼陽小学校に転入、兄ら皆秀才も、__発達__の遅さや多動傾向が心配される子で、父からは厳しく、母からは優しく育てられる。

21ヶ条要求・・・1915＝ 9歳：民本主義・・・1916＝10歳：日本医師会が発足した年、父に先んじて、母に連れられて熊本に戻り、白川小学校に転入。
ロシア革命・・・1917＝11歳：この年、日本に初めて、初代東大小児科教授弘田長が開発した育児用粉乳が登場。
本格政党内閣1918＝12歳：前年より猛威を振るう__スペイン風邪__に罹り、脳症を起こすも、治癒。
ベルサイユ条約・・・1919＝13歳：卒業し、県立熊本中学校に入学。
大暴落・・・1920＝14歳：内務省が乳児死亡問題解決の啓蒙を始め、「衛生展覧会」開催、育児書ブームになってゆくなか、
原敬首相暗殺1921＝15歳：__腸チフス__に罹って九死に一生を得、三度も、自分の命が助けられ、二番目の兄の命を救った熊本病院の医者__の話を聞かされ、そして、父からも期待されて、小児科医師を志すようになり、

護憲三派圧勝1924＝18歳：卒業し、第五高等学校に入学。
治安維持法・・・1925＝19歳：__猩紅熱__に罹るも、医者__の判断で、自然治癒。学校に坐禅指導にきていた沢木興道師から大きな影響。国際連盟が、日本の小児の死亡率の高さを警告、内務省が、人工栄養の基準「乳児の育て方」を刊行、
金融恐慌・・・1927＝21歳：卒業し、__東京帝国大学医学部__に入学、栗山重信の指導を受ける。チェロに夢中になる。栗山・吉永が「本邦乳幼児発育標準値」を発表するなど、乳幼児に関する論議が活発になるなか、

海軍軍縮条約1930＝24歳：この年、第一回ワールドカップが開かれたサッカーにも熱を入れる。
満州事変・・・1931＝25歳：__卒業し、栗山重信の東大小児科教室に勤務、師のカルテを知るべく、病歴室に通い、大収穫。

国際連盟脱退1933＝27歳：栗山は、この年発足した小児保健研究会の発起人の一人。
帝人疑獄事件1934＝28歳：結婚。__恩賜財団〔愛育会〕が創立され、
芥川直木賞始1935＝29歳：__〔愛育会〕が発行始めた雑誌〔愛育〕の執筆陣の一人になり、長期にわたって続ける。
二二六事件・・・1936＝30歳：__〔愛育会〕の指導で、全国各地に誕生したボランティア組織〔愛育班〕や、とくに対策を講ずるモデル村〔愛育村〕の運営に、積極的に参画。毎年更新される「愛育班育成者必携」「愛育班員必携」の監修、

日中戦争始・・・1937＝31歳：長女が誕生。母子保健法、保健所法が公布され、
健保+総動員 1938＝32歳：厚生省が設置され、国民健康保険法が公布された年、__オープンしたばかりの〔愛育研究所〕員になり、〔愛育会〕付属病院の初代小児科医長になる。この年始まった優良多子家庭表彰のため、対象家庭を実地調査

日米開戦・・・1941＝35歳：
・・・1942＝36歳：
創価学会検挙1943＝37歳：〔愛育会〕に、日本保育研究会を設立し、〔愛育研究所〕保健部長になるが、
敗戦・・・1945＝39歳：妊婦・乳児の疎開となり、自らは懲罰徴兵されるもすぐに解除、妻と三人の子が疎開している新潟に向かい、まもなく敗戦。早速、皆が待つ〔愛育村〕へ。戦災孤児・浮浪児が多数生じるとともに、伝染病も流行、伝染病研究所が試作したペニシリン(2年後国産化)を肺炎の乳児に思い切って注射し救う。GHQの求めで、新しい保育制度の草案づくりに関わり、厚生省に児童局が新設、母子衛生課が置かれて、
三大事件・・・1949＝43歳：母子手帳実施の翌年、__日本赤十字社中央病院の小児科部長に就任、看護婦養成教育にも従事。
朝鮮戦争始・・・1950＝44歳：千葉大新卒で、のちに川崎病を発見する川崎富作を小児科医に採用。〔愛育会〕から「小児保健指針」刊行。
独立回復・・・1951＝45歳：

水俣病が発生し、森永砒素ミルク事件が起きるなか、__経営難__に陥った〔愛育会〕からの強い復帰希望で、
国連加盟・・・1956＝50歳：「子供の病気」、監修「赤ちゃん百科」。__*〔愛育病院〕院長、〔愛育研究所〕所長になり、医学博士号。
なべ底不況・・・1957＝51歳：白梅学園短期大学保育科教授。
小児マヒが流行するなか、__職員労組__のストライキや裁判の困難を乗り越えて再建を果たす。

安保闘争・・・1960＝54歳：厚生省中央児童福祉審議会委員になり、
タイタイ病始・・・1961＝55歳：母親たちの大運動で、ポリオワクチン一斉投与に。
8割以上が自宅分娩であったのが、8割以上が施設分娩になる劇的な変化、乳児死亡も劇的に減少するなか、__執筆依頼__が急増、監修も含めて、以後、著作は多数にのぼるが、内容の性質上、連年、改訂出版されるものが多く、その途次、改題されるものもある。テレビの育児番組にも次々出演、母親から人気で、「育児の神様」と呼ばれるようになる。

いざなぎ景気1966＝60歳：この年創刊された初の育児雑誌「赤ちゃん和妈妈」の監修を引き受け、以後、三十四年にわたり巻頭言。
美濃部都知事1967＝61歳：保健文化賞。
震ヶ関ビル・・・1968＝62歳：藍綬褒章。
全共闘ビーク・・・1969＝63歳：
大阪万博・・・1970＝64歳：監修「小児の情緒障害」、
ドルショック・・・1971＝65歳：監訳「トーマス博士の育児書」、
石油ショック1973＝67歳：
ケラップール事件1975＝69歳：「わが子の健康食 強い子に育てる母さんの知恵」、
田中角栄逮捕1976＝70歳：「赤ちゃんの命を守る母乳のはなし」、
JALハジック・・・1977＝71歳：__〔愛育病院〕院長を退任し、名誉院長。

成田衝突・・・1978＝72歳：
貿易摩擦問題1980＝74歳：「幼稚園児をもつ若い両親へ 脳・心・からだ」「赤ちゃんの応急手当豆事典」、
・・・1981＝75歳：「内藤博士の愛の育児書」。慶応健康センター常任顧問、
中曽根内閣・・・1982＝76歳：「内藤寿七郎博士の ちょっと気がかり赤ちゃん相談室」
・・・1984＝78歳：「赤ちゃんの心理 何を求め何を訴えているのか」「やさしい子どもに育てたい」、監修「赤ちゃん百科 改訂版」、編著「赤ちゃんの病気の見つけ方・治し方 若い両親へおくる」。__日本小児科医会__を発足させて、会長、
バブル始・・・1986＝80歳：__すでに懇意にしていた育児用品メーカー社長葛西健蔵や漫画家手塚治虫らと、日中育児交流のため、70年ぶりに訪中。手塚と意気投合し、葛西の発案で「あたたかい心を育てる運動」がスタート、世界に広がる。

竹下内閣・・・1987＝81歳：白梅学園短期大学を退任し、名誉教授。__以後毎年、中国から招待されて訪中、
昭和天皇没・・・1989＝83歳：妻が死去。8年をかけて__それまでの著作をまとめ、子育て書の集大成になる「育児の原理」を刊行。
ドイツ統一・・・1990＝84歳：「2歳しからないでもしつけができる」、
ソ連崩壊・・・1991＝85歳：「私の赤ちゃん 内藤博士の愛の育児書」、
バブル崩壊・・・1992＝86歳：__日本人として初のシェパティツアー博受賞、国連環境計画特別顧問、日中育児研究会会長になる。
55年体制終・・・1993＝87歳：「内藤博士の育児相談」、
・・・1996＝90歳：
金融破綻・・・1997＝91歳：日本小児科医会会長を辞任。__〔内藤寿七郎国際賞〕が創設され、マザー・テレサに第一回特別賞。
小泉9.11テロ2001＝95歳：上海の婦女子連合会で、95歳の誕生祝賀会が行われ、現地のTV局も取材に訪れている。
小泉北朝鮮・・・2002＝96歳：「育児の原理：あたたかい心を育てる」、
・・・2007＝101歳：__寿老人からつけられた名のように長寿を保ったが、腎不全のため、没した。

丹羽洋子「小児科医者内藤寿七郎物語」、